

- 問1 日本アルプスは、本州の中央部に位置する3つの山脈の総称です。このうち、最も北に位置し「北アルプス」とも呼ばれる山脈と、最も南に位置し「南アルプス」とも呼ばれる山脈の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. 北：赤石山脈、南：飛騨山脈      2. 北：飛騨山脈、南：木曽山脈      3. 北：木曽山脈、南：赤石山脈      4. 北：飛騨山脈、南：赤石山脈
- 問2 日本の交通網の大動脈である東海道新幹線の路線において、静岡県から西へ進み、岐阜県に到達する直前に通過する、中京工業地帯の中心地を含む都道府県はどこですか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 滋賀県      2. 長野県      3. 三重県      4. 愛知県
- 問3 三重県に位置するある重要港湾は、統計上、輸出額が東京港に次ぐ規模に達しています。この港の輸出特性として、輸出品全体の約4分の1を自動車が占め、さらに半導体等製造装置や集積回路、タイヤなどの工業製品を主に中国や韓国へ輸出しているという特徴があります。この港の名称として正しいものを選んでください。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
1. 名古屋港      2. 北九州港      3. 四日市港      4. 神戸港
- 問4 静岡県の太平洋沿岸部の気候特色である「冬の気温が高い」ことや「日照時間が長い」ことを生かして、この地域で古くから盛んに行われてきた産業の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 豊富な雪解け水を利用した、大規模な水田単作による稲作      2. 茶の栽培や、温暖な気候を利用したビニールハウスによる施設園芸農業      3. 乾燥した気候に適した、小麦やライ麦の広大な農地での栽培      4. 冷涼な気候に適した、キャベツやハクサイなどの高原野菜の栽培
- 問5 日本の都道府県別統計において、花の「きく」の出荷量が全国シェア28.7%で第1位であり、さらに自動車などの「輸送用機械器具」の出荷額でも全国シェア35.5%で第1位を占めている、中部地方の県はどこですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 神奈川県      2. 静岡県      3. 愛知県      4. 沖縄県
- 問6 福井県鯖江市の眼鏡枠製造のように、特定の地域で伝統的な技術や労働力を生かし、地域の経済を支えている産業を総称して何と呼びますか。最も適切な用語を選びなさい。 (2021年 三重県公立入試 類似)
1. 先端技術産業      2. 加工貿易      3. 重化学工業      4. 地場産業
- 問7 2万5千分の1の地形図を用いて富山県高岡市役所の周辺調査を行う際、市役所から実際の距離で600m圏内の範囲を図上で測定する方法と、その範囲内に位置する公共施設の記号の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 図上の距離で4.0cmの範囲を測り、その中に病院や保健所の記号があるかを確認する。      2. 図上の距離で1.5cmの範囲を測り、その中に税務署や裁判所の記号があるかを確認する。      3. 図上の距離で6.0cmの範囲を測り、その中に郵便局や小中学校の記号があるかを確認する。      4. 図上の距離で2.4cmの範囲を測り、その中に消防署や警察署の記号があるかを確認する。
- 問8 中部地方の日本海側に位置する都市について説明した次の文章のうち、あてはまる都市はどれか。「日本一の長さを誇る信濃川の河口に位置する港町であり、北陸地方ではじめて政令指定都市に指定された。」 (2018年 岐阜県公立入試 類似)
1. 福井市      2. 富山市      3. 新潟市      4. 金沢市
- 問9 新潟県は本州の日本海側に位置し、その形状は北東から南西にかけて細長く伸びています。そのため、隣接する県の範囲も広く、複数の地方にわたっています。新潟県が陸上で直接境界を接している県の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
1. 山形県・宮城県・群馬県・長野県・石川県      2. 山形県・福島県・埼玉県・岐阜県・富山県      3. 秋田県・福島県・栃木県・長野県・富山県      4. 山形県・福島県・群馬県・長野県・富山県
- 問10 中部地方には標高3000メートルを超える山々が連なる「日本アルプス」がありますが、このような険しく高い山脈が日本列島に多く見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 大分県公立入試 類似)
1. 数億年以上前に形成された非常に古い山脈が、長年の風雨による浸食を受けて今の形になったため      2. 大陸の内部に位置しており、地震や火山の活動がほとんどない安定した地殻の上に成り立っているため      3. かつて巨大な氷河に覆われていた地域において、堆積した土砂が長い年月をかけて丘陵地帯を作ったため      4. プレートの境界付近に位置し、現在も地殻変動による盛り上がりが発見されているため
- 問11 北陸地方の気候と産業の特色について述べた文として、正しいものを次のうちから選びなさい。 (2017年 高知県公立入試 類似)
1. 冬の降水量が非常に多く積雪が見られるため、農閑期の副業として伝統的工芸品の製造が発達した。      2. 冬は乾燥して晴天の日が多いため、広大な土地を利用した太陽光発電が主な産業となっている。      3. 季節風の影響を避けるために、石垣や防風林で囲まれた家々での精密機械工業が発達した。      4. 一年中降水量が少なく乾燥しているため、伝統的にため池を活用した綿花栽培が盛んに行われた。
- 問12 富山市では、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを進めるために「富山ライトレール」が導入されました。この路線の利用者について、以前の移動手段を調査した統計では、かつてのJR富山港線を利用していた層は約46.8%に留まっています。この統計から読み取れる利用者の傾向として、適切な説明はどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
1. 以前からJR富山港線を利用していた層が利用者の大半を占めており、自家用車から鉄道への乗り換えはほとんど見られない。      2. 新規の利用者は存在せず、以前からバスを利用していた層がすべて鉄道利用に切り替わったことで利用者が維持されている。      3. JR富山港線の廃止に伴い以前の利用者がいなくなったため、現在は主に自転車や徒歩で移動していた層が中心となって利用している。      4. かつてのJR富山港線を利用していなかった人が、自家用車からの乗り換えや新規の移動手段として、全体の3割以上も利用するようになった。
- 問13 福井県などが位置する北陸地方では、古くから織物や漆器などの伝統産業が盛んです。この背景には、地域の気候と農業の関わりが深く影響していますが、伝統産業が発展した主な要因として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
1. 広大な土地を利用して、大規模な農場と工場を併設することができたため      2. 一年中温暖な気候を活かし、農業の合間に効率よく生産できたため      3. 夏に雨が少なく、稲作に代わる安定した収入源が必要だったため      4. 冬の雪が多く、稲作ができない時期の副業として行われてきたため